

| 2019年度 第4回 ライフステージ事例検討会 報告書 | |
|--|---|
| 日時 | 2019年10月1日(火) 17時45分～19時15分 |
| 開催施設 参加者数 | 金沢大学9名、富山大学7名、福井大学4名、石川県立看護大学8名、信州大学10名、 恵寿総合病院2名、国立病院機構金沢医療センター3名、小松市民病院10名、 公立松任石川中央病院7名、石川県立中央病院9名、浅ノ川総合病院3名、富山県立中央病院16名、 市立砺波総合病院5名、富山県済生会高岡病院0名、金沢医科大学氷見市民病院3名、富山労災病院2名、 飯田市立病院0名 合計98名 |
| テーマ | 「対応が難しいと感じた終末期高齢がん患者の家族との関わりを経験して」 |
| 発表者 | 富山県立中央病院 時山 麻美さん |
| <p>【意見交換内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の中でお互いの思いを共有することが必要だと意見交換された。 ・看護師が言動の背景にある思いを知ろうとすることやサポートしたいと家族に伝え続けることの大切さについて意見交換された。 <p>【他施設からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長女に長時間かけて来院していることに対して労うことが大切なのではないかと思う。 ・家族の中で長女にだけが本当のことを伝えられていなかったため、患者の状態に動揺し、これまで何もできなかったことに対して後悔していたのかもしれない。 ・長女の威圧的な言動によって看護師が拒否的な態度になってしまい、それが伝わっていたのかもしれない。 ・患者に害がない程度で、長女の希望を叶えるようなケアも必要なのではないかと思う。 | |
| ミニレクチャー | 「エンド・オブ・ライフを支える家族へのケア ～ 患者・家族の思いに寄り添う看護師の体験からみえてきた家族ケア～」 |